

■平成9年度 催物案内

心技の妙—現代の紬 宗廣力三(むねひろりきぞう)展

1997年4月8日(火曜)から5月11日(日曜)

宗廣力三は、岐阜県郡上八幡町出身の工芸家です。伝統的な藍染の素材や行程にこだわり、現代的な意匠を求め、実験的な織りと染めを試みてきました。本展は、その全容を紹介するものです。

第51回 岐阜県美術展 第3回岐阜県民文化祭

一般部：5月24日から6月1日

青年部：6月5日から6月8日

少年部：6月12日から6月15日

一般部：日本画・洋画・彫塑・書道・グラフィックデザインの7部門からなる公募展

青年部：絵画・デザイン・彫塑・書道・写真の各部門からなる公募展

少年部：絵画・デザイン・書写からなる公募展

'97 岐阜 現代の美術

1997年6月20日(金曜)から7月18日(金曜)

本展は県内美術界の創造的活力を発掘し、その現状を総合的に紹介することにより、地域に根ざす美術活動の振興、発展に寄与する事を目的とするものです。日本画、洋画、彫刻、書、写真、デザインの6部門から選び、その作品を一堂に紹介します。

現代アメリカ絵画の旗手ジム・ダイン展—身体の比喩—1997年

7月25日(金曜)から8月24日(日曜)

ジム・ダインは、日常品と絵を合体させた作品などにより、ポップ・アートの担い手として国際的な活動が続けてきた作家です。本展では、その全容を紹介します。

岐阜県美術館開館15周年記念

ミレー、コローとバルビゾン派の仲間たち

1997年8月30日(土曜)から10月5日(日曜)

日本で初公開されるミレー、コローの作品を中心に、世界からよりすぐった絵画、版画80点を公開します。

岐阜県美術館開館15周年記念

織部(おりべ)いわゆるオリベイズムについて

1997年10月17日(金曜)から12月7日(日曜)

日本文化史上、特異な文化形態を示した安土桃山時代を背景に誕生した「織部好み」「織部様式」といわれる「織部」とは何を表し、今日における「織部」とは何を意味するのか。開館15周年を記念する本展でそれらを検証します。

The Glass Skin ガラスの新世紀—世界の 20 作家の挑戦

1998 年 1 月 17 日(土曜)から 2 月 22 日(日曜)

本展は、ヨーロッパとアメリカのそれぞれの地域で現代ガラスの発展に積極的に寄与してきたデュッセルドルフ美術館とコーニング・ガラス美術館の協力をもとに、国際的視野でこの 30 余年のガラス芸術の成果を検証し、今最も重要な位置を占める作家 20 人を厳選して、1 作家各 5 点、合計 100 点の新作・近作によって現代ガラスの行方を探ろうとするものです。

近代のやまと絵 古典美の再発見

1998 年 3 月 3 日(火曜)から 3 月 29 日(日曜)

本展は、幕末から昭和初期に至るまでの日本画の流れを「やまと絵」との関連に注目しながら整理して、そこから近代日本画の新たな魅力と意義を見出そうとするものです。